

# 2025年度（令和7年度）生徒指導推進計画

2026年（令和8年）3月

## 1 学校教育目標

自ら学び、仲間とともにたくましく生きぬく子どもを育てる

## 2 目指す子ども像

萱野山のようにたくましく	か：考えを伝え合おうとする子
	や：優しく声をかけ合う子
	の：のびのび体を動かす子
	山：最後までやり抜く子

## 3 生徒指導重点目標

- ① 基本的な生活習慣の定着
  - ・集団の一員として学校のきまりを守り、節度ある生活が送れるよう指導する。
- ② 自律の育成
  - ・規範意識を育てる。
- ③ 自己肯定感の育成
  - ・授業、学級活動、児童会活動、学校行事、小中一貫教育活動等で、自分たちで計画し、実践、振り返りを行う経験をさせる。
- ④ 不登校児童への対応
  - ・家庭訪問の充実（5日連続欠席の場合家庭訪問する）
  - ・遅刻、欠席の減少（午前9時までに家庭連絡する）

## 4 生徒指導体制

### ① 生徒指導の組織化（いじめ防止基本方針）

- ・いじめ、問題行動、不登校等は一人で抱え込むことのないよう、組織的に取り組む。学年主任は、学年の実態把握をする。
- ・問題行動は、担任→学年主任→生徒指導主事・校長・教頭に「報告・連絡・相談・確認」を確実にする。問題行動の事実確認を確実に（複数等で）行う。
- ・全職員が同じ目線で、同じ対応ができるように共通理解を図る。
- ・事件・事故の未然防止のために、積極的な生徒指導をする。
- ・月に1回以上いじめ防止委員会を開催し、学校の現状について共有する場を設ける。

### ② 生徒指導の計画

- ・生徒指導重点目標を意識し、全教育活動の中に各学年で取り入れる。
- ・2025年度は、誰もが気持ちよく過ごすために、『相手意識』（お互いに相手のことを考える）
- 『自立と自律』（自分で考えて行動する・自律した行動をとる）を特に重点とする。

### ③ 開かれた学校づくり

- ・小中一貫教育の充実を図る。
- ・地域、家庭との連携を図る。
- ・保護者との連携を密にしながら、信頼関係を構築する。



コミュニティスクールとして、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていく。

## 5 教育相談体制の確立

### ① 目的

- ・児童のもつ悩みや困難の解決を指導・援助し、社会生活に適應させ、よりよい人格の形成をめざす。
- ・学校生活や社会生活への適應上の問題や悩み及び不安をもつ児童への指導・助言をする。

### ② 方法

- ・「教育相談委員会」を毎月開催する。
- ・必要に応じてスクールカウンセラーとの連携を計画する。